

地域運営学校 八王子市立第五中学校



学校だより

■ 発行 八王子市立第五中学校 八王子市明神町4丁目19-1
■ 代表電話 042-(642)-1633

【教育目標】

- ◎ 人・地球との共生 〈より高い人間性をめざす人〉
- 未来社会への知性 〈学び続ける人〉
- 心身共に健康 〈健康で生命を大切にする人〉

第8号 令和7年12月5日 金曜日

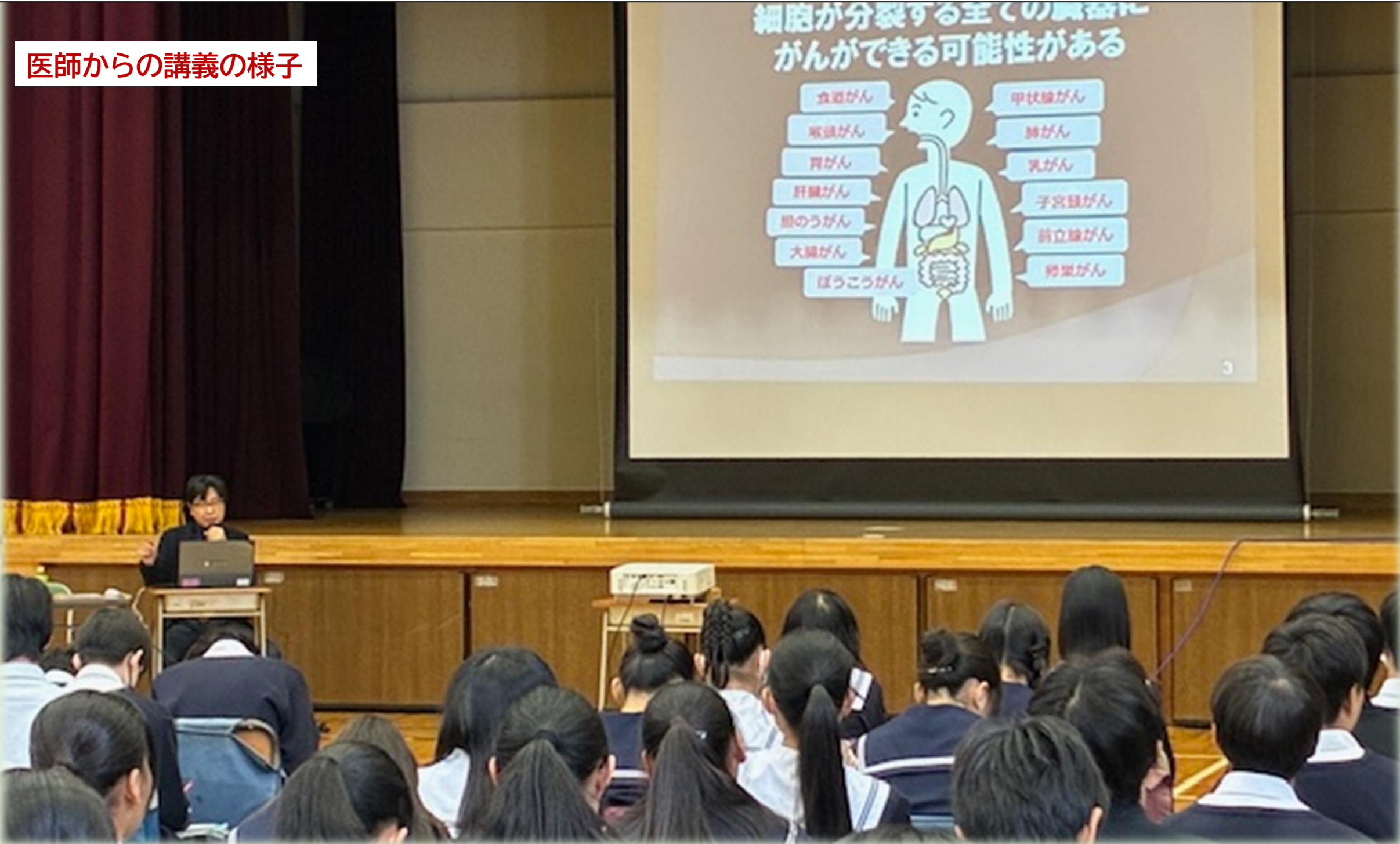


第2学年 健康教育の一環である「がん教育」

「健康と命の大切さについて学び、自らの健康を適切に管理し、がんに対する正しい知識とがん患者に対する正しい認識をもつよう教育すること

(文部科学省 学校におけるがん教育の在り方(報告))

医師からの講義の様子



講師からがん経験のお話

遅和悠

↓ 冷静

検証 (乳がん検診～検査)

情報収集

↓ 冷静

確定(がん告知) → 治療

第2学年で実施するがん教育は、健康教育の一環として、がんについての正しい理解と、がん患者や家族などのがんと向き合う人々に対する共感的な理解を深めることを通して、自他の健康と命の大切さについて学び、共に生きる社会づくりに寄与する資質や能力の育成を図る教育です。

今年度は、講師として東海大学医学部附属病院 小児外科 教授(医学博士) 平川 均 先生からがんについての正しい知識を教えてくださいました。また、がん対策推進企業アクション認定講師の藤原 裕子様から、がん経験者としての貴重なお話を頂きました。

11 月後半から3年生の面接練習が始まりました。私は1日当たり9名の生徒と15分程度面接をしました。緊張していても一人ひとりの紡ぎだす言葉の中に、中学校3年間で学んだことや努力してきたこと、なぜ志望校を志したのか、など思いや考えを聞くことができました。ただ漠然と3年間で過ごしてきたのではなく、どんな境遇にあっても、ひたむきに人間を磨いてきた人の言葉は、共感を超えて感動を覚えます。やはり大切なのは、数値やデータよりも、最後は人なんだなと思います。目標を持ち、希望を語れる魅力をもった人はどこでも大切にされるなと思います。

一方で、面接練習時に感じていることは、自分自身で聞かれたことを説明したり、思いを伝えたりする言葉に自信を持てていなかったり、自分自身を低く評価している人が思った以上にいることに一抹の不安を覚えます。質問者への返答が正対しているのに、言葉の端々に自身の無さが見え隠れしている生徒も少なからず見受けられました。自信を持つためには、自分自身を現在の能力で評価するのではなく、能力というのは、未来に向かって開花して行くということを信じるのが大切ではないかと思います。自信は、誰もが獲得できる力です。中学校3年間の一日一日を大切に、全力で生きて行くような向上心をもって、一步一步の努力を積み重ねていくことで、何かができるようになったり、発見したり、その喜びを感じることで自信につながっていくのではないかと思います。そういった結果は一朝一夕には出るものではありません。

学習活動も同様のことが言えます。植物の世界では、梅の木は2月から3月頃に香良く淡い花を咲かせます。桜の木は3月から4月にかけて、梅の木から遅れますが、人を魅了する花を咲かせます。人間も同じように、最初から利発で聡明なタイプの方もいれば、初めは勉強はできないけれども、段々と力を付けて行くタイプの方もいます。勉強などあまりできないと決して悲観することはありません。自分は桜の木のように段々と成長するタイプなのだと考え、心を入れ替えてひたむきに努力をすればいいのです。自分には限りない無限の可能性があるということを信じて、誰にも引けを取らない努力をしていけば、必ず成長するはずです。自分自身と向き合い、対話し、自らを磨いていこうとする気持ちさえあれば、成果は必ず現れてきます。努力をしても、学習内容や自信に結びつかないという方もいますが、もしそう考えるのなら、学習の方法や努力の仕方が合っていないのではないかと一度立ち止まって考えることも必要です。トライ & エラーを繰り返して、自分に合った学習方法を発見することも大切です。最後は目的意識をもって、様々な努力や粘り強く課題解決をすることを通して、人間が磨かれ、成長できるものと前向きに考えれば困難も苦にはならないのではないのでしょうか。

教育活動等について

○ 第一小学校との合唱交流

令和7年11月14日(金)に、合唱コンクールで金賞を受賞した3年4組が第一小学校のお招きにより、全校児童に合唱を披露しました。当日は3年4組の合唱2曲の後に、第一小学校の全校児童からのお礼の合唱が披露されました。

初めての試みでしたが、小中学校の交流が年を追うごとに深まってきているように感じています。

最後に、第一小学校の児童からお手紙・メッセージを頂戴しました。お手紙は本校2階フロアに掲示されています。



○ 青少対主催 クリーン活動

令和7年11月15日(土)に青少年対策第五地区委員会主催のクリーン活動が開催されました。今回は、第一小学校、第四小学校の児童と保護者、本校の部活動の生徒が大勢参加してくれました。生徒会の皆さんもゴミを入れる袋やトングなどを配ったり、後片付けを率先して行ってくれました。ゴミの無い地域の環境を皆で整えていくことは、とても大切な取り組みです。クリーン活動だけではなく、明神町のごみ拾いの活動も定期的に行われていますのでこれからも積極的に自分の街のために参加してくれることを願います。



○ 英語スピーチコンテスト

令和7年11月15日(土)に八王子市教育センターで、英語スピーチコンテストが開催されました。

本校からは、3年生の さんが出場し、英語でスピーチを行いました。本校からは毎年英語スピーチコンテストに出場する生徒がいますので、英語の授業等で学んだことを活かせる機会として、来年度も積極的に応募して欲しいと思います。東京都ではグローバル人材の育成に力を入れており、英語スピーキングテストも全学年で導入されました。英語科で学ぶ5領域を磨いていきましょう。



○ 「税についての作文」の表彰式

令和7年11月25日(火)に八王子市学園都市センターで八王子納税貯蓄組合連合会・八王子税務署主催の「税についての作文」入選者の表彰式が行われました。

本校からは、3年生の さんが東京納税貯蓄組合総連合会会長賞を受賞し、表彰されました。今回表彰された作文は東京都の関連する大会に出品される予定です。また、入賞作文をまとめた冊子も作成される予定です。

「税についての作文」は毎年多くの出品がありますので、来年度も3年生を対象に出品したいと考えています。皆さんを支える税について学ぶことは意義ある学びになると思います。



特集 第1学年 移動教室

○ 2泊3日で学ぶ、民泊・農業体験

令和7年11月18日(火)から11月20日(木)まで、1年生は栃木県大田原市方面で2泊3日の民泊・農業体験を実施しました。八王子市では持続的な社会の創り手の育成をめざして、令和8年度からキャリア教育を改善します。本校では、1年生で農業体験を行い、一次産業である農業の現状と生産者である農家の思いなどを現場で学ぶことを中心に行いました。



令和8年度は1年生で学んだ生産者の思いなどを活かして、商業地域である第五中学校の学区域で、社会課題を発見・解決するために挑戦する「起業家精神」を育むアントレプレナーシップ教育を職場体験の方法や見方・考え方を改善して実施していきます。

3年生では、地域の課題解決のために、起業家教育を取り入れ、グループで企業を立ち上げ、商品開発や銀行からの資金融資、決算などを学ぶ取り組みを計画中です。1年生の学びが、2年生、3年生に活かされる内容になります。

ホームページがスマートフォンで見やすくなっています。

学校だよりは令和7年度からデジタル配信となりました。
学校ホームページからも見られますので御活用ください。

<https://hachioji-school.ed.jp/dai5j/>

※ 携帯電話・スマートフォンからは二次元コードからの閲覧が便利です。



学校ホームページの
二次元コード